

使われるデジタルアーカイブになるために

2017年度にスタートした東京大学デジタルアーカイブズ構築事業では、各部局の資料デジタル化と公開の支援を行っています。四年目となる現在、各事業の個性的な資料公開が続いています。今回のセミナーでは、2019年度に行われた事業の紹介と、デジタル画像の利活用に関する講演を行います。東京大学が持つ資料の多種多様さを知っていただくとともに、デジタルアーカイブ構築、デジタルコンテンツ利活用等についての情報を分かち合うことで、学内・学外を問わず、デジタルアーカイブを育てていくヒントを共有できればと考えています。

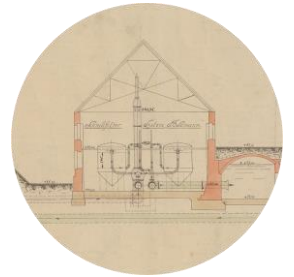
【プログラム】

プレセッション（プレセッションは学内者向けの内容が含まれます。予めご了解ください。）

- 13:15- 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業概要
13:20- 2019年度新規公開コレクション紹介
・旧制帝国大学採鉱及冶金学科関係資料写真、高山文庫大型図面（工学3号館、14号館図書室）
・東京帝国大学五十年史料、大型資料（総合図書館）
13:50- 東京大学学術資産等アーカイブズポータルとの連携について
14:05- 質疑応答
14:15-14:30 休憩

事例紹介

- 14:35- 使われるための地道なデータづくりの話
ーコロナ禍だからできた「摺拾帖」のタグ付けー
中村美里（東京大学附属図書館／学術資産アーカイブ化推進室）
14:55- 大学院教育におけるデジタルアーカイブの活用：
『あつまれ どうぶつの森』を題材に
小風尚樹（千葉大学人文社会科学系教育研究機構）
15:15- 学校教育で使われるアーカイブになるために：
小学校・中学校でのジャパンサーチを活用した長期実践
大井将生（東京大学大学院 学際情報学府文化人間情報学コース）
15:35- デジタルアーカイブ利活用基盤としてのジャパンサーチ
徳原直子（国立国会図書館 電子情報部）



パネルディスカッション

- 16:05- 16:45
コーディネーター
中村覚（東京大学史料編纂所／学術資産アーカイブ化推進室）
パネリスト
中村美里／小風尚樹／大井将生／徳原直子

【日時】 **2021年2月16日（火） 14:30-16:50**
13:15-14:15（プレセッション）

【開催方法】 Zoomウェビナーによるオンライン配信

【対象】 デジタルアーカイブ、デジタルコンテンツ活用などに関心のある方
（プレセッションは学内向けですが、一般の方もご参加いただけます）

【定員】 先着450名

【参加費】 無料

【申込方法】 下記のURLからお申込みください。

登録いただいたメールアドレス宛に接続先URLが自動送信されます。

https://zoom.us/webinar/register/WN_p8ynihRuQJeYfjoyJcs5FA

【お問い合わせ】

東京大学学術資産アーカイブ化推進室

03-5841-2613 / digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp

